

病院ホームページへの案内文

場所：「病院のご案内」→「基本情報」

タイトル：「医学生による臨床実習に関するご案内」

◆学生教育について

昭和医科大学では、人の痛みのわかる優れた医療人の育成をめざして、医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部・昭和医科大学附属看護専門学校の学生や研修生等が指導者の監督のもと、附属病院の現場で見学・実習・研修を行っており、患者さんの診療、看護、検査などに参加させていただいております。

患者さんにおかれましては、明日の医療を支える人材の育成のため、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

◆医学生による診療参加型臨床実習について

医学部では、教科書的な知識だけでなく、医療の現場で必要となる技能や態度を学ぶため、診療チームの一員として実際の患者さんの診療を経験すること（臨床実習）が必要です。臨床実習に参加する医学生（4・5・6年生）は、臨床実習を開始する前に必要な知識・技能・態度を評価する全国共通の試験（共用試験）に合格し、学生医「CCT：Clinical Clerkship Trainee（クリニカルクラークシップ・トレニー）」として認定されております。

学生医は、指導医の指導監督のもと、以下に示す医行為を行わせていただくことがあります。患者さんにおかれましては、医学生が医師となるために必要な知識、技能および態度を修得できますよう、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

* 医学生の同席や面接、診療などを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

* 学生医（CCT：クリニカルクラークシップ・トレニー）以外の医学生（1・2・3年生）が、一緒に見学をさせていただくことがあります。

①：必須項目（臨床実習中に実施が開始されるべき医行為）

【診察】診療記録記載（診療録作成）、医療面接、バイタルサインチェック、診察法（全身・各臓器）、耳鏡・鼻鏡、眼底鏡、基本的な婦人科診察、乳房診察、直腸診察、前立腺触診、高齢者の診察（ADL、評価、高齢者総合機能評価）

【一般手技】皮膚消毒、外用薬の貼付・塗布、気道内吸引、ネブライザー、静脈採血、末梢静脈確保、胃管挿入、尿道カテーテル挿入・抜去、注射（皮下・皮内・筋肉・静脈内）、予防接種

【外科手技】清潔操作、手指消毒（手術前の手洗い）、ガウンテクニック、皮膚縫合、消毒・ガーゼ交換、抜糸、止血処置、手術助手

【検査手技】尿検査、血液塗抹標本の作製と観察、微生物学的検査（Gram 染色含む）、妊婦反応検査、超音波検査（心臓血管）、超音波検査（腹部）、心電図検査、経皮的酸素飽和度モニタリング、病原体抗原の迅速検査、簡易血糖測定

【救急】一次救命処置、気道確保、胸骨圧迫、バックバルブマスクによる換気、AED

【治療】処方薬（内服薬、注射、点滴等）のオーダー、食事指示、安静度指示、典型的な術前・術後管理の指示、酸素投与量の調整、診療計画の作成

②：推奨項目（臨床実習中に実施が開始されることが望ましい医行為）

【診察】 患者・家族への病状の説明、分娩介助、直腸鏡・肛門鏡

【一般手技】 ギブス巻き、小児からの採血、カニューレ交換、浣腸

【外科手技】 膿瘍切開、排膿、嚢胞・膿瘍穿刺(体表)、創傷処置、熱傷処置

【検査手技】 血液型判定、交差適合試験、アレルギー検査(貼付)、発達テスト、知能テスト、心理テスト

【救急】 電気ショック、気管挿管、固定など整形外科的保存療法

【治療】 健康教育

* 侵襲性の高い医行為を行う際は、別途個別に説明のうえ、同意をいただき、実施いたします。

* ご不明な点がございましたら、担当医にお尋ねください。